

パクリタキセル(De12)治療を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日 /	2病日 /	3～7病日 / ～ /	8病日 /	9～14病日 / ～ /	15病日 /	16～20病日 / ～ /	21病日:退院 /	【退院後の生活について】
達成目標	・治療について理解できる						・退院指導の内容を理解できる		・がん薬物療法後は体力や免疫力が落ち、感染症にかかりやすくなります。ビタミンやたんぱく質など十分な栄養を摂ってください
		・38.0度以上の発熱がない							
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します 			・抗がん薬注射の30分以上前に、アレルギーを予防する薬を内服します 		・抗がん薬注射の30分以上前に、アレルギーを予防する薬を内服します 			以下の症状がある時はご連絡ください ・全身倦怠感、疲労感 ・息苦しさ ・手足のしびれ ・38.0℃以上の発熱 ・筋肉痛や関節痛
注射	・点滴をします。治療後は医師の指示で点滴を抜きます 			・点滴をします。治療後は医師の指示で点滴を抜きます 		・点滴をします。治療後は医師の指示で点滴を抜きます 			
検査	・身長・体重測定 							・体重測定	【緊急連絡先】 ・平日時間内 (8:30～17:00) 皮膚科外来 :0985－85－9889 ・土日・祝日、時間外 7階東病棟 :0985－85－1898
処置	・治療中は心電図モニターをつけます。治療終了から1時間後に心電図モニターを外します								
食事									
活動・安静	・点滴中はベッドで安静にお過ごしください	・制限はありません		・点滴中はベッドで安静にお過ごしください	・制限はありません	・点滴中はベッドで安静にお過ごしください	・制限はありません		
清潔	・シャワー浴ができます ・治療後は体調が変化する場合もありますので、点滴がある日は、点滴前のシャワー浴をおすすめします								
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療(薬剤)の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・感染予防、転倒転落予防について説明します ・がん薬物療法オリエンテーションを行います	・「がん薬物療法を受けた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します							
その他	・同意書は職員にお渡しください								
	・吐き気があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴をしているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください ・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください								

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。